

9月

月間指導計画

1歳児



保育目標		遊びを通して友達に興味を持ち、一緒に遊ぶことを楽しむ。 好きな遊びを見つけて十分に遊びこむ。			
子どもの姿		自我が強くなり、玩具の取り合いなど友達とのぶつかり合いが増える。 様々なものに興味を持ち、保育者や友達と一緒にやってみようとする。 夏の疲れが出てきて、体調を崩す子どももいる。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	ひとりひとりの健康状態を把握してもらい、健康に過ごせるようにする。	室内の気温・湿度に気を付ける。 視診をしっかり行い、異常がある場合には早めに体操する。	疲れて給食前にうとうとしてしまうことがある。 夏の疲れから、体調を崩す子どももいる。	眠くなってしまう子には、食事前に少し横になる時間を作ったり、食後すぐに横に慣れるように布団の準備をしておく。
	情緒	保育士に見守られながら、好きな遊びを十分に楽しめるようにする。	全身を使った遊びや、ゆったりとした遊びなど、好きな遊びを選んで楽しめるように環境を設定する。	ぶつかり合いが起こると、その気持ちを保育者に伝えようとする。	保育者に気持ちが伝わったという安心感を味わえるようにする。
教育	健康	自分の荷物をロッカーにしまおうとする。	自分のロッカーが分かりやすいように、見える位置にマークを貼る。	保育者と一緒に片づけをしようとする。 自分のものだという意識が高まってくる。	戸惑っているときにはマークの名前を示すなどしながら、自分でできたという気持ちを持てるようにする。
	人間関係	戸外遊びを通して、友達と一緒に遊ぶことを喜ぶ。	順番で遊具を使ったり、ボールを使ったやり取りをする機会を作る。	友達のことになり、同じことをしようとする。 順番や玩具の取り合いで、友達とぶつかり合うこともある。	ぶつかり合いが起きた時にはお互いの気持ちを代弁するなどして、友達にも自分と同じ感情があることを知らせていく。
	環境	散歩で見つけた葉っぱや石に触れ、その感触を楽しむ。	自然が豊かな公園に散歩に行く。 秋の自然に目が向くように声をかけたり、一緒に拾い集めて楽しんだりする。	公園で友達や保育者と一緒に葉っぱを拾って楽しむ。 絵本で見たバッタの動きに驚く。	保育者と一緒に楽しみながら、その形の特徴や面白さを知らせ、秋の自然物に興味を持てるようにしていく。
	言語	遊びの中で、保育者や友達と言葉を使ったやり取りをする。	言葉のやり取りを活発に行えるように、ごっこ遊びの環境を充実させる。	「ちょうだい」「どうぞ」など簡単なやり取りをする。返事がある前に取ってしまうこともある。	保育者と一緒に遊ぶことで、言葉を使ったやり取りを行う機会を増やしていく。
	表現	友達や保育者と一緒に季節のうたを楽しむ。	集まりの時間に、覚えやすい季節のうたをうたう。	知っているフレーズになると大きな声と一緒に歌う。	声に出せなくても、体を動かしたり手をたたいたりするなどそれぞれの子どもの表現を大切にしている。
食育		こぼしながらも自分で食べようとする	うまく食具を持っていない時には、手を添えるなどしながら知らせていく。	食具を持ちながらも、手づかみで食べる。 自分で食べたい思いから、援助を嫌がるようになる。	食べる意欲がなくなってしまうよう、自分で食べているときには見守る。
健康・安全		夏の疲れが出る頃なので、安全な環境でゆったりと過ごせるようにする。 噛みつきなどが増えてくるので、事前に防げるよう保育士の配置や活動内容を工夫する。			
保護者支援		防災訓練の詳細を保護者に伝え、協力していただけるようにする。 気温差に対応できるように、調節しやすい衣服の準備をお願いする。			